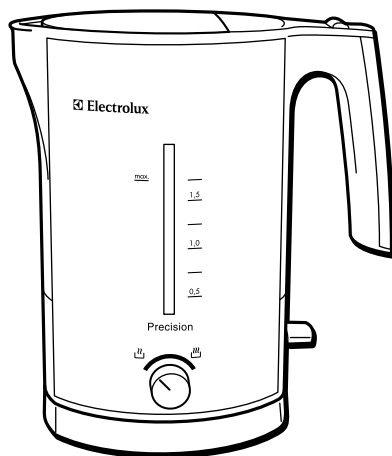


Electrolux

エレクトロラックス アジャスターケトル Precision シリーズ EEK6000

家庭用電気製品 取扱説明書（保証書付き）

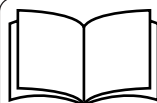


もくじ	ページ
1. 安全上のご注意	①～③
2. 各部の名称	④～⑤
3. ご使用になる前に	⑥
4. ご使用方法	⑥～⑨
5. お手入れのしかた	⑩～⑪
6. 故障かな？と思ったら	⑫
7. 仕様	⑫
8. アフターサービス	⑬

製品保証書添付

この度は、エレクトロラックス・ジャパン（株）製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みにになり、正しくご使用ください。お読みにになった後は、大切に保存してください。



必ずこの取扱説明書
をお読みにってから
ご使用ください。

1. 安全上のご注意

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

(絵表示の例)



警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」）が描かれています。



「必ず実行していただくこと」を表します。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本製品を他人に譲渡されるときは、この取扱説明書を必ず添付してください。
- 「取扱説明書」に添付してあります、「製品保証書」に販売店の明記がないものは、保証期間中でも有償修理になる可能性があります。

警告

分解・改造はしないでください。
修理技術者以外の方は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または当社のサービスセンターにご相談ください。
(13ページ参照)



分解禁止

お子様など取り扱いに不慣れな方だけで使用させないでください。
感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

本機を水に浸さないでください。
感電・ショート・故障の原因になります。



水かけ禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります



コンセントから
プラグを抜く

延長コードを使用しないでください。
発熱・発火の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

直火や電気ヒーター、電磁調理プレートなどで使用しないでください。
火災の原因になります。



禁止

交流100V以外では使用しないでください。
感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

本機に使用している梱包材(ビニールなど)を幼児や子供の手の届くところに置かないでください。
窒息・けがをするおそれがあります。



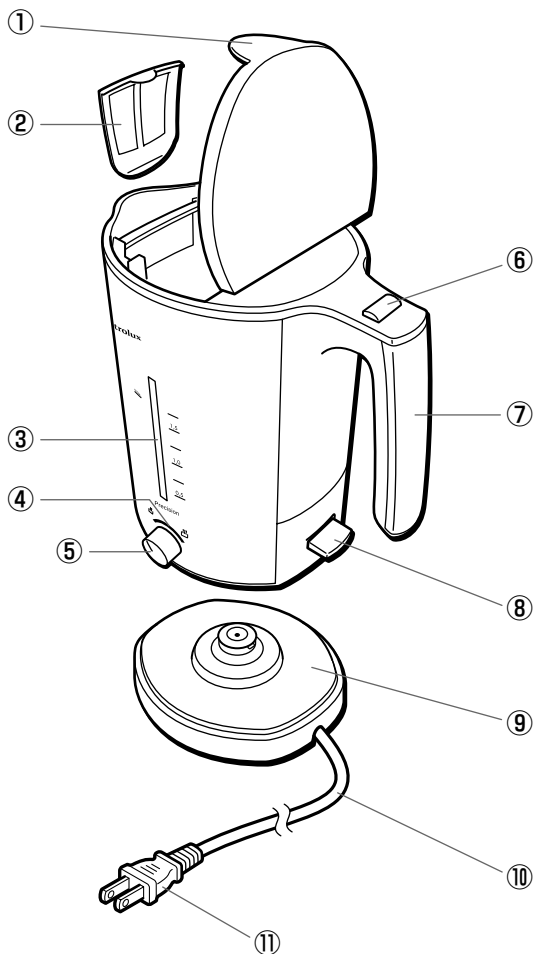
禁止

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。  プラグを持って抜く	電源プラグは必ず根元まで差し込んでください。 感電・ショート・発火の原因になります。  注意
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。  コンセントからプラグを抜く	熱に弱いものの上では使用しないでください。壁や家具から10cm以上離して使用してください。また、使用中は本機の上にものを置かないでください。しみがついたり、変色・変形することがあります。  注意
水のかかるところや火気の近く、可燃物の近くでは使用しないでください。 感電・ショート・変形・火災の原因になります。  禁止	使用中は、移動させないでください。 お湯がこぼれ、やけどの原因になります。 また、お湯を注ぐ際は、ケトルを必ずコードベースから離してご使用ください。  禁止
電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってから使用してください。 火災の原因になります。  注意	使用の際は、必ずフィルターとふたを正しくセットしてください。 蒸気が逃げると、正常に機能しません。  注意
ケトルに水以外の物を入れて使用しないでください。  禁止	本製品の消費電力は1450Wです。コンセントは単独で使用してください。  注意

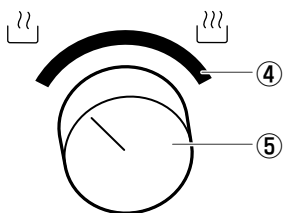
2. 各部の名称

本 体



- | | |
|------------|-------------|
| ① ふた | ⑦ ハンドル |
| ② フィルター | ⑧ オン・オフスイッチ |
| ③ 水量窓 | ⑨ コードベース |
| ④ 電源ランプ | ⑩ 電源コード |
| ⑤ 温度調節ダイヤル | ⑪ 電源プラグ |
| ⑥ 開閉ボタン | |

操作部



④ 電源ランプ

⑤ 温度調節ダイヤル

☐[〰]：低温のお湯を作りたいときにセットします。(約 70 ～ 90℃ (※))

(※) 入れる水の量によって温度は変わります。

☐^{〰〰}：お湯を沸騰させたいときにセットします。

3. ご使用になる前に

梱包材は全て外してください。

はじめてご使用になる前に、本体内部を洗浄するために数回水ですすぎ、2～3回お湯を沸かしてください。そして、そのお湯は使わずに捨ててください。お湯の沸かし方は、「4. ご使用方法」を参照してください。

また、臭いが気になる場合は、⑪ページの「■製品本体から気になる臭いがする場合」を参照してください。

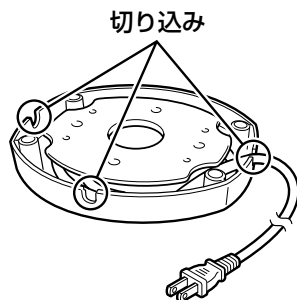
4. ご使用方法

湿らせた柔らかい布で内部と外側を拭いてください。

1. コードベースや電源コードが濡れていないか確認します。

コードベースから電源コードを出し、安定したところに置いてください。

※電源コードは、コードベース裏側に収納されています。使用時は電源コードをコードベースの切り込み部分から全て出して、水平に安定した状態でご使用ください。



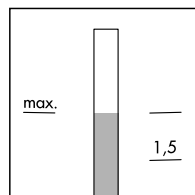
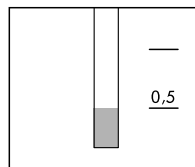
2. フィルターがきちんと挿入されているか確認します。

⑪ページ「フィルター」の「3. フィルターを取り付けます。」を参照してください。

3. 開閉ボタンを押してふたを開け、水を入れます。

MIN (0.5L) から MAX (1.7L) の間で必要な量の水を入れてください。水量は、本体側面の水量窓から確認できます。

※MIN (0.5L) 未満および、MAX (1.7L) を超える量の水を入れて、使用しないでください。自動 OFF 機能が働かなかったり、沸騰したお湯が噴出したり、電気部分にお湯が入り故障の原因にもなります。



4. ふたを閉めます。

ふたがロックされるまで、必ずしっかり閉めてください。

⚠️ ご注意

- ・ふたが閉められていないと、蒸気が逃げてしまい正常に機能しません。
- ・フィルターをセットしていない状態で使用すると、蒸気が逃げてしまい正常に機能しません。



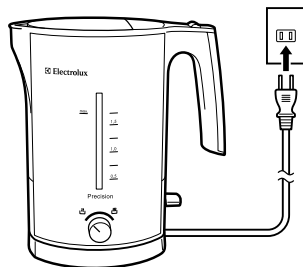
5. 本体周りの余分な水分を柔らかい布で拭きます。

6. コードベースの上に本体を置き、電源プラグをコンセントに差し込みます。

ケトルがコードベースの中央に正しくセットされていることを確認してください。
オン・オフスイッチが OFF になっていることを確認してください。

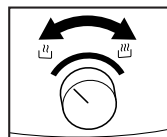
⚠️ ご注意

- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に必ず水を入れてください。水を入れない状態でケトルを加熱しないでください。
- ・消費電力は1450Wです。十分な電力を確保した状態で使用してください。



7. 温度調節ダイヤルを回して、好みの温度に合わせます。設定に合わせてランプが点灯します。

- ☹️ 沸騰したお湯を作りたいときは、ダイヤルを右（☹️）に合わせてください。
- ☺️ 沸騰させたくないときは、ダイヤルを左（☺️）に合わせてください。
（使用例：日本茶（煎茶）・中国茶（白茶・緑茶）など）約 70 ～ 90℃ の温度で電源が OFF になります。



☺️でのできあがり温度の目安

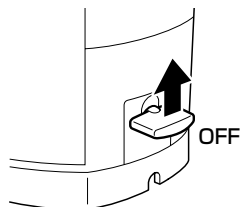
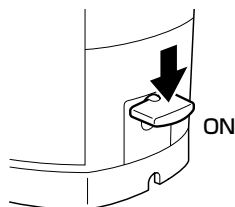
0.5L	約 90℃
1.0L	約 80℃
1.5L	約 75℃
1.7L	約 70 ～ 75℃

8. オン・オフスイッチを下げます。

電源が入り、電源ランプが赤く点灯します。
途中でやめたいときは、オン・オフスイッチ
を上[↑]に上げ、電源を切ってください。
再加熱したい場合は、再度オン・オフスウィ
ッチを下[↓]げ、電源を入れてください。

⚠️ ご注意

- ・使用中は絶対にふたを開けたり、注ぎ口から水を入れたりしないでください。
- ・注ぎ口に手や顔を近づけないでください。やけどの原因になります。
- ・ハンドル以外の本体は、さわらないでください。
- ・本体をコードベースから持ち上げること、電源は切れます。



9. 沸騰すると、自動的に電源が切れます。

※ ^㉒ に設定した場合は沸騰せずに電源が切れます。
電源ランプが消灯します。

ケトルをコードベースから持ち上げてお湯を注いでください。ふたをしたままお湯を注げます。

⚠️ ご注意

- ・使用後すぐにふたを開けないでください。お湯がはねたり、熱い蒸気が出るので、やけどのおそれがあります。
- ・ハンドル以外の本体は熱くなっていますので、さわらないでください。なお、底面は熱くならないので、そのままテーブル等に置くことができます。
※保温機能はありません。

10. 使い終わったら、電源プラグをコンセントから抜きます。

・ 沸騰時間の目安 ^㉒ は次のとおりです、（室温 20℃、水温 20℃の場合）

水量	0.5L	1.0L	1.5L	1.7L
沸騰時間	約 2 分 40 秒	約 5 分	約 7 分 15 秒	約 8 分

・ 空焚き防止機能がついています。

空の状態では加熱したり、ふたを開けたまま加熱し自動 OFF 機能が働かずに蒸発したときに、空焚きを防止します。

空焚き防止機能が働いた場合、再度使用するまで、約 10 分冷ましてください。
防止機能がついていますが、空焚きは絶対にしないでください。

使用上のご注意

- 水以外の飲み物や液体などを入れて使用しないでください。
- ミネラルウォーターなどのミネラルが多く含まれる水を使用した場合、内部に湯あかが付着しやすくなります。
- 必ず 0.5L 以上の水量で使用してください。水量が少なくなると、故障の原因になります。
- 水量窓の MAX (1.7L) を超える量の水を入れないでください。水を入れすぎると沸騰時にあふれ出し、やけどの原因となります。
- 使用中、本体は熱くなります。ハンドル以外の部分に触らないでください。
- 本体は必ず立てて使用してください。
- 使用中は絶対に注ぎ口をふさがないでください。
- ふたを開けたままや、フィルターを取り付けずに、電源を入れないでください。蒸気が逃げてしまい正常に機能しません。
- 電源コードが破損した場合は、当社サービスセンターに交換を依頼してください。そのまま使用すると危険です。
- 濡れた手で使用しないでください。
- 屋外で使用しないでください。
- 使用中は本体から目を離さないでください。
- コードベースに水がこぼれないように注意してください。
- ケトルが熱いときは、蒸気が充満しています。再び水を補充する際にふたを開けるときは、顔や手を近づけないでください。
- 使用後は、ケトルの中を空にしてください。

5.お手入れのしかた

<お手入れの前に>

- ・コンセントから必ず電源プラグを抜いてください。
- ・本体を十分に冷ましてください。

本 体

- ・使用後は、ケトルの内部をきれいな水ですすぎ洗いしてください。中に水を残さないでください。なお、その際ケトルの外側および底面部が濡れないようにご注意ください。
- ・ケトルの外側は、湿らせた柔らかい布のみ使用してください。漂白剤、研磨剤や洗剤は使用しないでください。
- ・ケトルとコードベースは、絶対に流水洗いや、浸し洗いをしないでください。
- ・ケトル内部の加熱部分はステンレス製です。さびのようなものは、付着した沈殿物なので、ステンレス用の洗剤をご使用ください。
なお、洗剤等を使用した際は必ず、よくすすぎ洗いをしてください。

■湯あかの落とししかた

ケトルの底に溜まった湯あかは、余分な電力消費と、機能低下の原因になります。沸騰前に電源が切れるようであれば、湯あかの層が厚くなっている可能性があります。

週に一度、湯あかを落とすことをお勧めします。

1. 水を約 1.6L、酢を約 0.1L 入れて、2 ～ 3 回沸騰させてください。

※「たわし」および「金属製のたわし」などを使用すると、傷などが付き、機能低下または故障の原因になりますので使用しないでください。

2. 本体が冷めてから、中の水を捨て、2 ～ 3 回水だけで沸騰させてください。 よくすすぎ洗いをし、柔らかい布で拭いてください。

■製品本体から気になる臭いがする場合

下記の通りに掃除をすることをお勧めします。

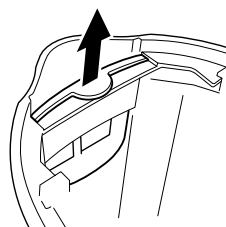
1. きれいな柔らかい布（タオルなど）で本体を拭きます。
2. 中性洗剤を水によく溶かしたものを含ませた柔らかい布で本体を拭きます。
3. きれいな柔らかい布で本体を拭きます。

1. ～ 3. を数回繰り返し、風通しのよい場所で十分に乾かしてください。

※内部はよくすすぎ洗いをしてください。なお、その際流水洗いや浸し洗いはしないでください。

フィルター

1. フィルター中央のつまみを持ち、取り外します。

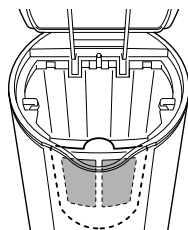
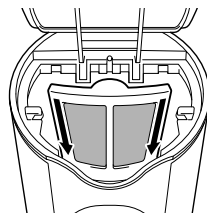


2. 流水ですすぎ洗いをし、必要であれば指や柔らかいスポンジを使用してください。

金属製のブラシやたわし、食器洗浄機などは使用しないでください。

3. フィルターを取り付けます。

※フィルターはよく乾かしてから取り付けてください。



6. 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

状 況	次の点をお調べください。
電源ランプが点灯しない	- コンセントに電源プラグが差し込まれていますか。 - ブレーカーが落ちていませんか。 - 電源は入っていますか。 - 空焚きしていませんか。しばらく待って十分に冷めてから再操作してください。
オン・オフスイッチがONにならない	
沸騰する前に電源が切れた	- 底に湯あかが溜まっていますか。「5. お手入れのしかた」の「■湯あかの落とししかた」に従って湯あかを落としてください。 - 温度調節ダイヤルは  にセットされていますか。
自動 OFF 機能が働かない	- ふたはしっかりと閉まっていますか。 - フィルターは正しく挿入されていますか。 0.5L未満の水量で使用していませんか。
注ぎにくい	- フィルター部分に湯あかがついていませんか。 - フィルターが正しく挿入されていますか。 - ふたはしっかりと閉まっていますか。

7. 仕様

品名	アジャスターケトル	外形寸法（約）	248(幅)×165(奥行)×260(高さ)mm (高さはコードベースを含む)
型式	EEK6000	重量（約）	1.1kg（本体のみ） 1.4kg（コードベースを含む）
電源	AC100V 50/60Hz	コードの長さ（約）	1.5m
消費電力	1450W		
容量（約）	0.5L～1.7L		

8. アフターサービス

保証について

- このケトルには、保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証書の記載内容により修理いたします。
(保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。)
- 保証期間後の修理対応（有償）
購入店または当社サービスセンターまでご連絡ください。

修理を依頼されるとき

- ⑫ページの「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度使用方法をご確認ください。
- それでも異常があるときは、使用を止めてお買い上げ店または当社サービスセンターまでご連絡ください。

品名：アジャスターケトル
 型名：EEK6000
 故障の状態（できるだけ詳しく）

ご自分での修理はしないでください。
 大変危険です。

愛情点検

●長年ご使用のケトルは点検を！



こんな
症状は
ありま
せんか

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- 容器から水が漏れる。
- 本体にさわると時々電気を感じる。
- 時々動かないことがある。
- 運転中、異常な音がする。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他異常、故障がある。

使用
中止

故障や事故防止
のために、必ず
販売店に点検を
ご相談ください。

補修用性能部品について

当社は、このケトルの補修用性能部品を製造打切後6年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品が破損したとき

お買い上げの販売店または当社にお問い合わせのうえ、お買い求めください。

お問い合わせの際には、品名、型名をご連絡ください。

お問い合わせは

アフターサービスについてわからないことは、お買い上げ店または当社サービスセンターまでご連絡ください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
 ご相談窓口

〒391-0011

長野県茅野市玉川字原山11400-1080

サービスセンター（修理・部品注文 受付）

フリーダイヤル：0120-13-7117

TEL：0266-70-1444

FAX：0266-79-4499

営業時間 平日（月～金）：AM9:00～PM5:30

土日祝（年末年始）：休日

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

- (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
- (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、販売元にご連絡ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または販売元にご相談ください。

3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、販売元へご連絡ください。

4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
- (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
- (ホ) 本書のご提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- (ト) 離島からの送料については運送費のみ負担願います。
- (チ) 異常電圧およびお客様の不注意による故障等につきましては保証期間中でも、有償修理になる可能性がありますのでご注意願います。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

修理メモ

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または販売元にお問い合わせください。

* 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、お買い上げの販売店または販売元にお問い合わせください。

* This warranty is valid only in Japan.

持込修理

※印欄に記入のない場合は無効となりますのでご確認ください。